

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		070207		070207	子ども医療費助成事業	担当部課	部課コード	070200	2998-9124	
事業コード		070207		子ども医療費助成事業		担当部課	子ども支援課			
開始年度		昭和 47 年度		終了年度	年度	グループ	手当・医療担当			
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令		
	分野別計画・指針									
	関連・類似事業	ひとり親家庭等医療費助成事業、重度心身障害児等医療費助成事業								
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	子ども支援	基本方針	子育て家庭の支援の充実			
事業開始の背景	本事業は、昭和47年9月から乳児医療費助成事業として0歳児を対象に実施されたもので、埼玉県では昭和48年7月から市町村に対する県補助事業を開始している。その後、県内各市町村において実施された。									
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	医療費の助成を行うことにより、子どもの保健の向上と福祉の増進、子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに子育てを支援することを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	42,264	人				
	0歳から中学3年生までの子ども(ひとり親医療対象児童数等を除く)			平成 27 年度	42,087	人				
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>[資格管理] 子ども医療費受給資格登録申請書の提出により受給者証を交付する。資格取得日は、当該児童が所沢市民となった日(誕生日、または転入日)、または医療保険加入日となる。子どもの住民登録や健康保険加入に基づき中学校3年生まで資格が継続する。</p> <p>[助成内容] 保険診療分の医療費一部負担金(就学前2割、以降3割)を助成する。高額療養費、附加給付、他法負担分等があった場合は当該費用を控除した額を助成する。</p> <p>[助成方法] 市と協定を交わしている市内医療機関(医科、歯科、調剤)を受診した場合、保険証と受給者証の提示により、窓口での支払いは無しとなる。(通院・入院別、医療機関別でひと月21,000円未満に限る。市は委託する審査・支払代行機関を通じて医療機関へ一部負担金分等を送金する。)協定未締結の市内医療機関及び市外の医療機関の場合、受給者が一旦支払った医療費を別途提出される医療費交付申請書により所定の口座へ振込みをする。</p>									
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)				
	予算現額			1,130,289	1,146,683	1,134,530				
	決算(見込み含む)			1,097,877	1,115,663					
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 0.00 人)	( 4.00 人)	( 0.00 人)	( 4.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。				
	正規職員人件費	1.66 人	14,477	2.23 人	19,312					
	事業費合計			1,112,354	1,134,975					
	財源内訳	一般財源			964,470	985,662	996,301			
国・県支出金			138,424	138,882	127,229					
その他			9,460	10,431	11,000					
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	交付件数	受給者証交付枚数	件	4,993	4,959	5,000	5,050		
		助成件数	医療費助成件数	件	593,018	599,342	635,550	640,000		
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	登録率(登録者数/助成対象者数)	制度周知に努め、目標値に近づける。	%	目標値 100	100	100	100		
	実績				99	99	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図 <input type="checkbox"/> 実績 縮小図			
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	99	99	どちらかをチェックしてください			
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	ジェネリック医薬品の使用推進に向け、ジェネリック医薬品を希望する旨を表示するシートを作成し配布した。				新規登録申請はしているが、書類不備により、登録が保留となっている助成対象者が多くいるため。					
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方 向 後 性 の	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	受給者に対してさらなる適正受診を呼びかけることが必要。事務負担に対して、引き続き一部負担金の審査支払業務の委託を行い、事務量の増加を抑制していく。			
				次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	現段階以上の年齢拡大予定がないため。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性					
	受給者に対して、適正受診の呼びかけやジェネリック医薬品の利用などを働きかけける。一定期間資格登録が保留になっている対象者に、書類不備の督促通知を発送している。				対象数は横ばいでありながら、医療費助成件数が増加し、助成額も増加している。受給者に対して、適正受診を呼びかけ、全体的な支給額の軽減を図るための啓発が必要である。また、引き続き一部負担金の審査支払業務の委託を行い、職員の事務量の増加を抑制していく。					
	評価日	H28.8.18		評価者職氏名	子ども支援課長 浅見 仙隆					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用		規制を受ける環境法令等	無		
							緊急事態	無		